

関中学校だより



関中学校HPにアクセス

※ 第31号 ※
令和7年2月28日発行
亀山市立関中学校
文責：堀内

かめやま文化年2024 「文化をつくること」

2月12日(水)、「地域の商店について考える」というテーマで、1年生対象に岡田屋本店の経営者である岡田瑞生さんをお招きし、出前講座を行いました。岡田さんは、相可高校卒業後、フランス料理店やワインショップで働くなど様々な仕事を経験され、今は、乾物や調味料、酒類を販売し、オリジナル商品の開発やファーマーズマーケットの運営など精力的に活動しています。野菜などが、どう作られているのかが見えるように生産者と消費者をつながたいという思いをもって行動されていること、地域に根差した活動をずっと続けていけば、それは人々の当たり前となり、やがて文化となる、そんな社会を作りたいと日々仕事に取り組んでいる、とお話してくれました。



生徒たちの感想

※生徒たちが、将来を考えるきっかけになりました。

- ・ 楽と楽しいは違い、楽しいとは、大変なことを乗り越えた先で得られるかけがえのないものであることが分かった。
- ・ 様々な取り組みを通して先代の文化を残しながら文化を作っていくとしていてすごいと思った。体に優しいものや作り手の顔が見えるものを取り扱う理由は、その背景を理解し、お客さんに自信をもって伝えるためと聞いて、しっかり考えてお客さんに商品を提供しているんだと思った。

学校保健委員会がありました

2月13日(木)、生徒が健康で安全な生活を送ることができる力を身につけ健康を推進する目的で、学校保健委員会を開催しました。3名の学校医の先生に來校していただき、学校保健関係者、PTA会長、学校運営協議会会長で協議を行いました。健康診断の結果分析、学校の衛生環境、食育やメディコンウィークなどについて話し合われ、学校医の先生方からも様々な助言をいただきました。健康について考える貴重な時間になりました。

- ①インフルA型から今後B型に移行していく予想がある、手洗い、うがいの徹底をする
- ②メディアの使い方については、睡眠時間の確保が最も重要なことである
- ③虫歯の未処置率が少ないことは、関中学校の強みである
- ④教室の環境について、空気がきれいで、温度も快適に保たれている

質問タイム、学年末テストがありました



2月14日(金)、17日(月)・18日(火)の3日間、学年末テスト前に質問タイムを設けました。多目的ホールでは生徒たちが互いに教え合いをしながら勉強に集中して取り組んでいました。各教室では、各教科担当の先生から、少人数で教科の指導を受けていました。

また、2月19日(水)から3日間、1・2年生は学年末テスト、3年生は実力テストがありました。生徒たちは一生懸命にテストに取り組んでいました。テスト後は、振り返りを行い、自分の得意や苦手を分析し、間違えた問題を解きなおし、理解ができるようにしてほしいと思いました。

奉仕作業をしました

2月21日(金)、3年生が奉仕作業を行いました。3年間お世話になった関中学校に感謝の気持ちをもって、教室や体育館、裏山などの清掃作業を行いました。



とてもきれいになりました。3年生のみなさん、ありがとうございました。

卒業証書について

本年度から亀山市の卒業証書の作成方法が変更になりました。A4サイズの用紙に、縦置き、横書きとなります。お知りおきください。

= 3月の行事予定 =

- 3日(月) 3年卒業式練習(6限)
選挙管理委員会、選挙公示
- 4日(火) 3年卒業式練習(5・6限)
- 5日(水) 3年卒業式練習(4限)
全校卒業式練習(5限)
- 6日(木) 卒業式予行(1・2限)
前日準備(4限)
- 7日(金) 卒業式
- 10日(月) 県立高校後期選抜
- 12日(水) 一斉下校(14:50下校)
- 14日(金) 2年生修学旅行・進路説明会(5・6限)
- 17日(月) 県立高校入学者選抜合格発表
生徒会役員選挙(6限)
- 18日(火) 給食終了
- 20日(水) 春分の日
- 24日(月) 大掃除(3限)
- 25日(火) 修了式・離任式

表彰おめでとう

○ 明るい選挙啓発ポスター 入選 村田明咲日

○ 亀山市児童生徒書写展 特選

村山心菜	山路悠月	坂心風	柿沼凜	今西優太	坂萌生	梶谷悠貴
豊田菜菜	小林優結	藏城智美	早川菜帆	富山知世	新井佑芽	中澤菜優

○ 第22回契沖顕彰短歌大会

生徒の部	言の葉賞	小林美陽	山の井賞	長谷川実咲
------	------	------	------	-------